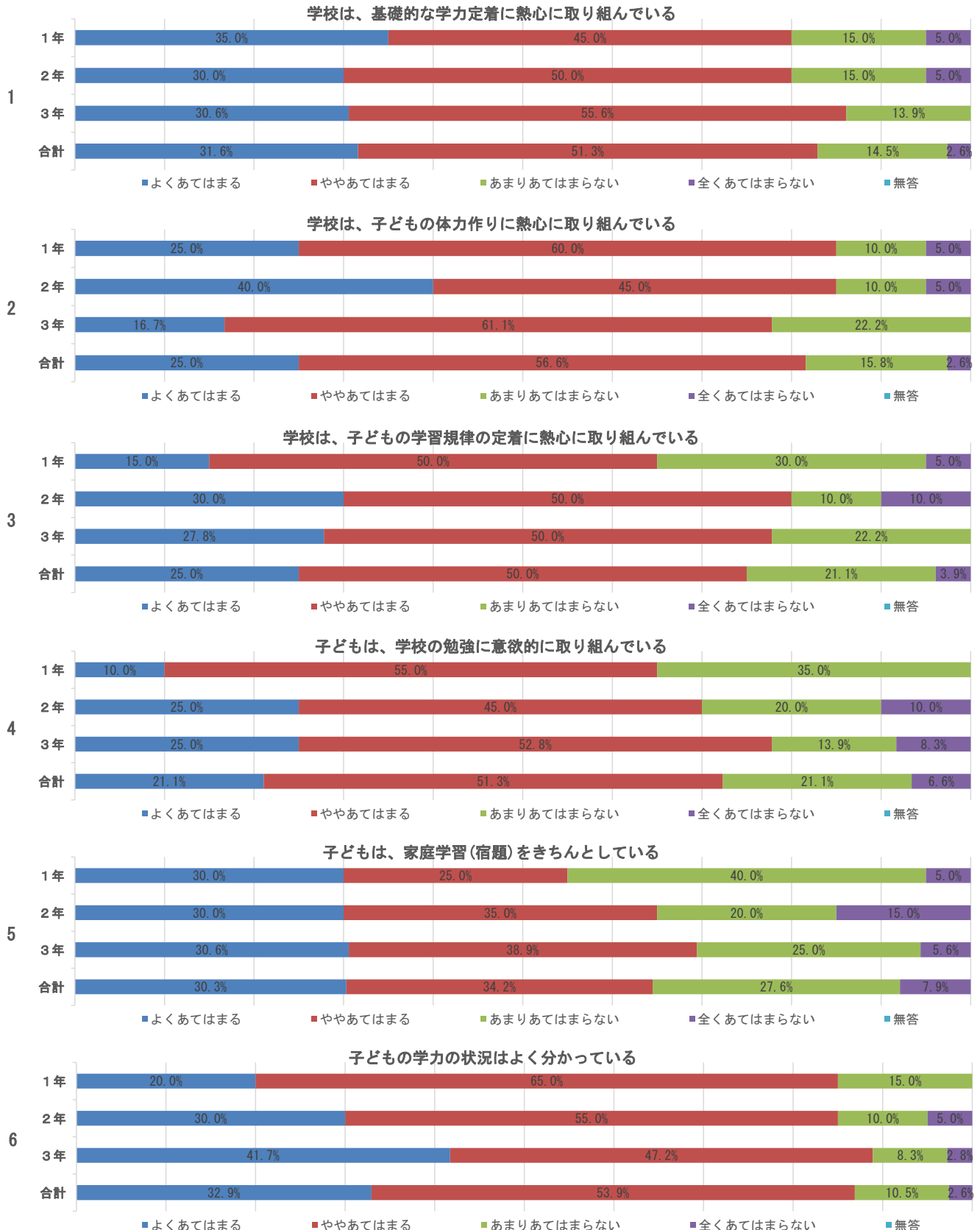


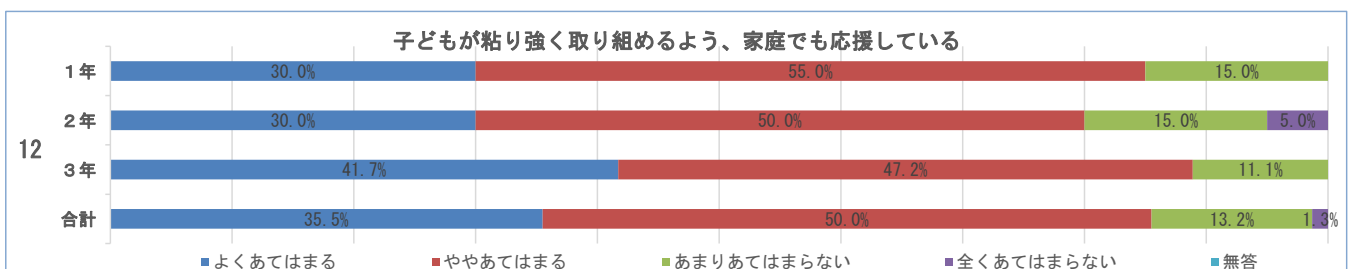
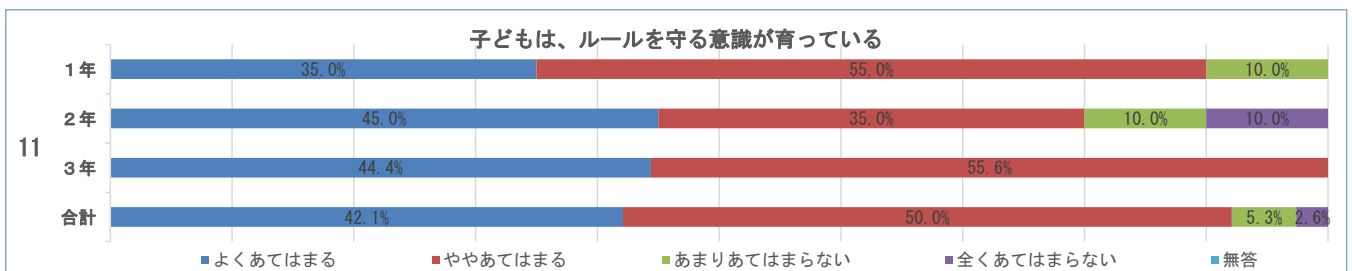
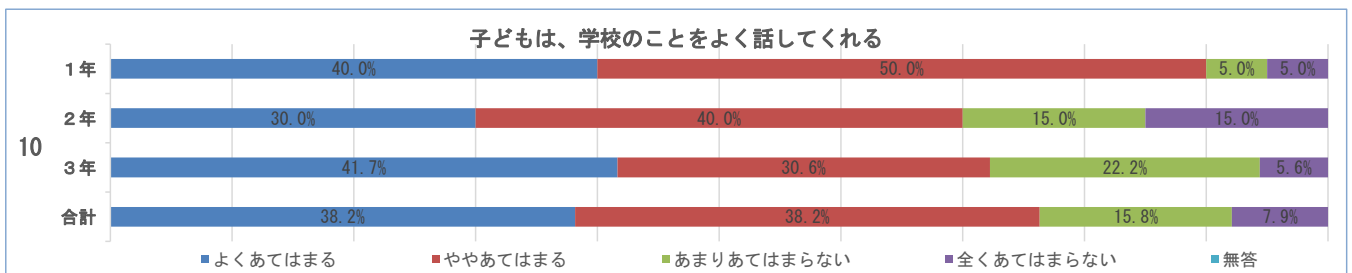
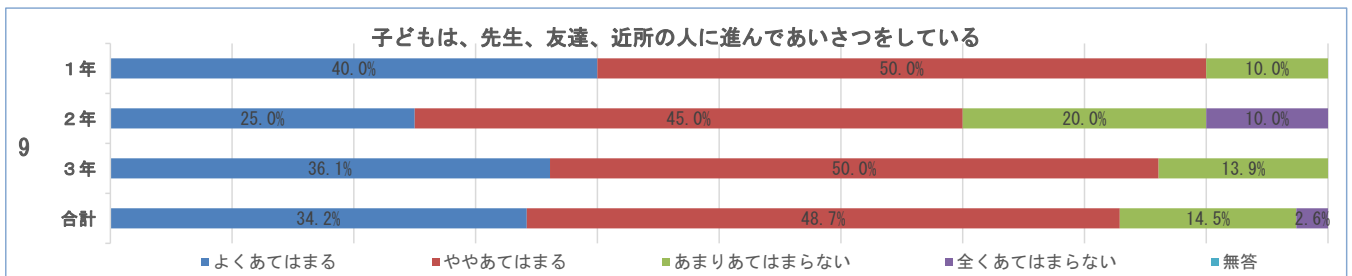
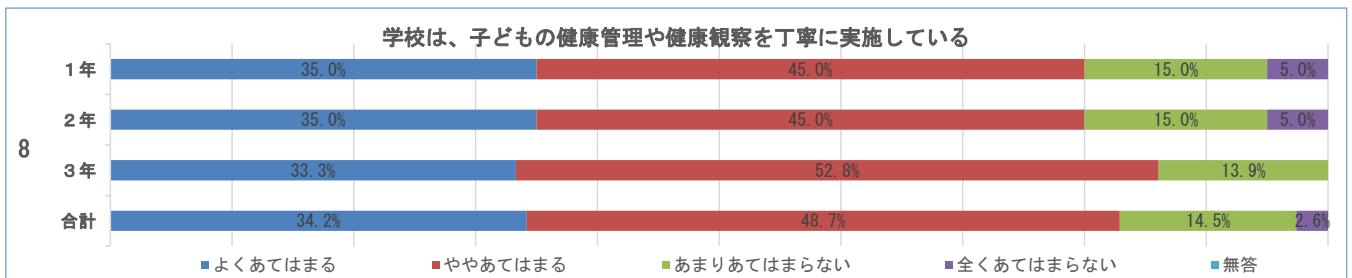
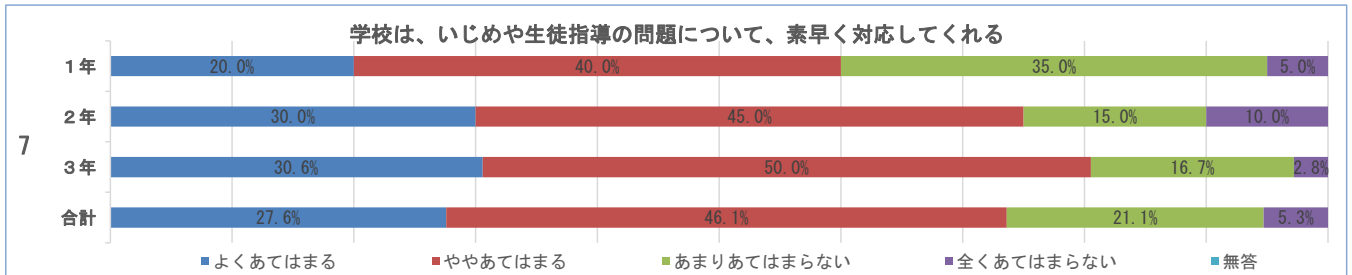
「学力・学習指導」の分野（設問1～6）

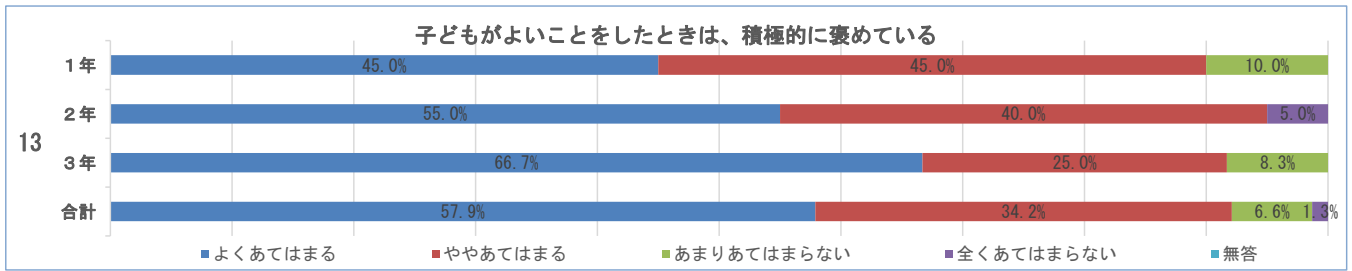
設問項目1、2、4、5については、昨年度から概ね満足できる割合が大きく増加しており、好意的な回答をいただいている。しかし、設問項目4「子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる」では、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計が27.7%、設問項目5「子どもは家庭学習（宿題）をきちんとしている」では、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計が39.5%である。これらに対しては、生徒が自ら進んで学習に取り組めるようにタブレット端末と紙媒体を活用した授業の工夫やグループ学習等において、互いに学び・教え合う機会を取り入れた学習を展開する。また、保護者と連携して、生徒たちが提出物を期日に提出できるように声かけや面談等を通して、学習意欲をさらに高めることができるように取り組んでいく。



「学校生活・生活指導」の分野(設問7~13)

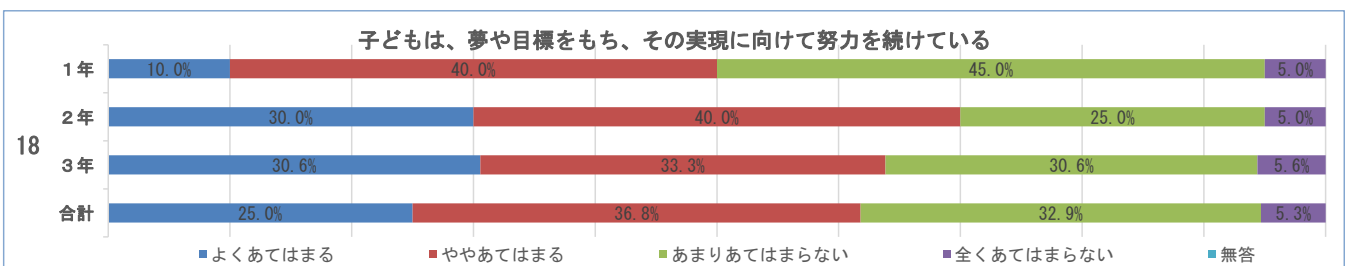
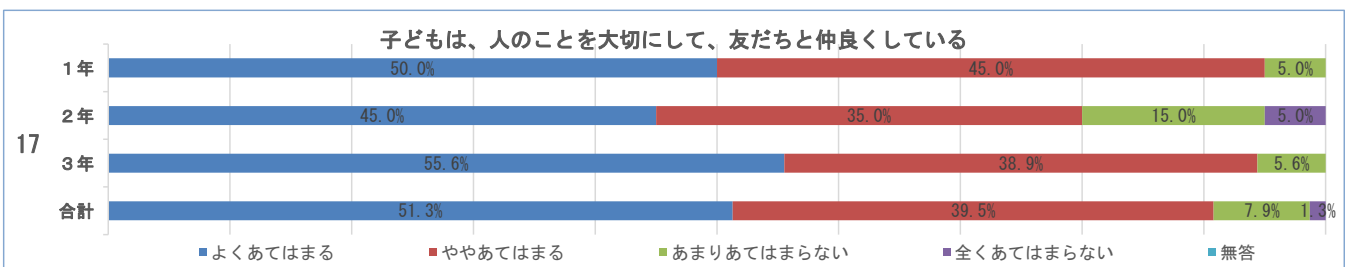
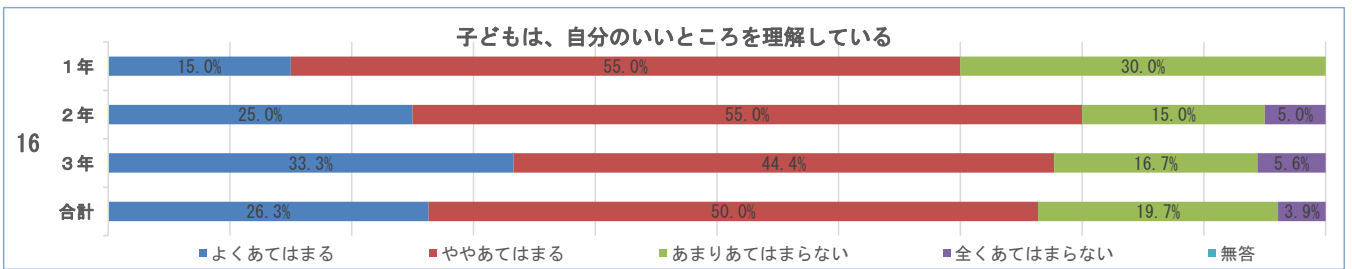
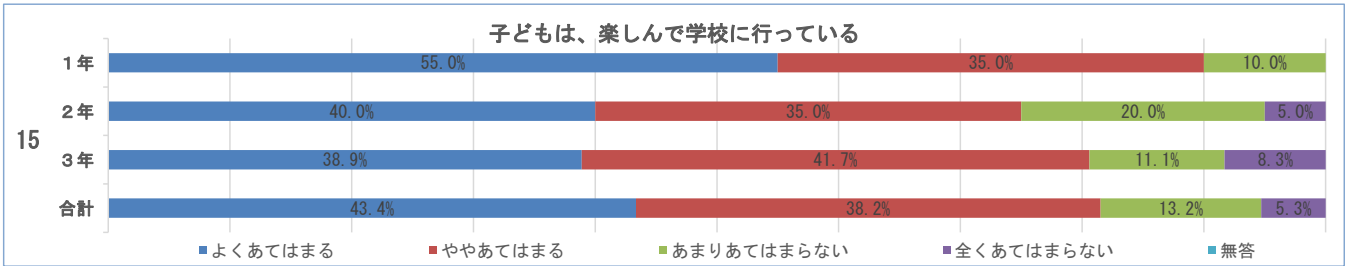
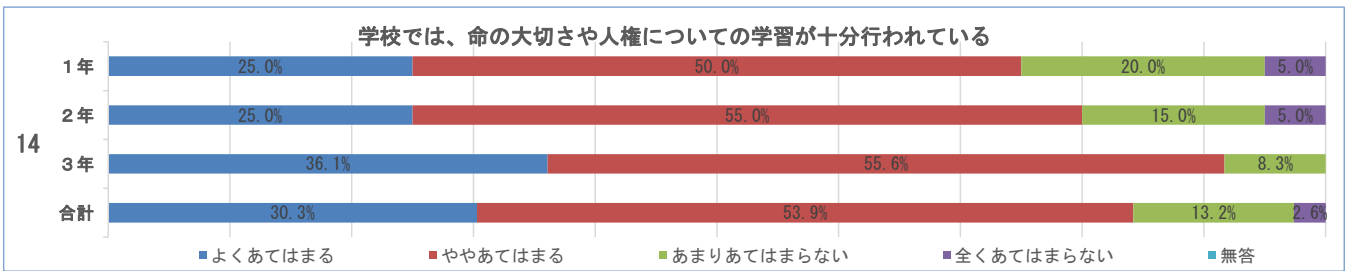
設問項目7~13のうち昨年度から概ね満足できる割合が増加した項目が5つあり、学校教育目標の実践ができてきている成果だと考える。なかでも、設問項目8、10においては、昨年度から概ね満足できる割合が5%以上の増加となった。今後も各種便りの発行や日頃から生徒への声かけ等を継続し、学年単位だけでなく、教師間での話し合いや連携した積極的な指導・支援を行っていく。

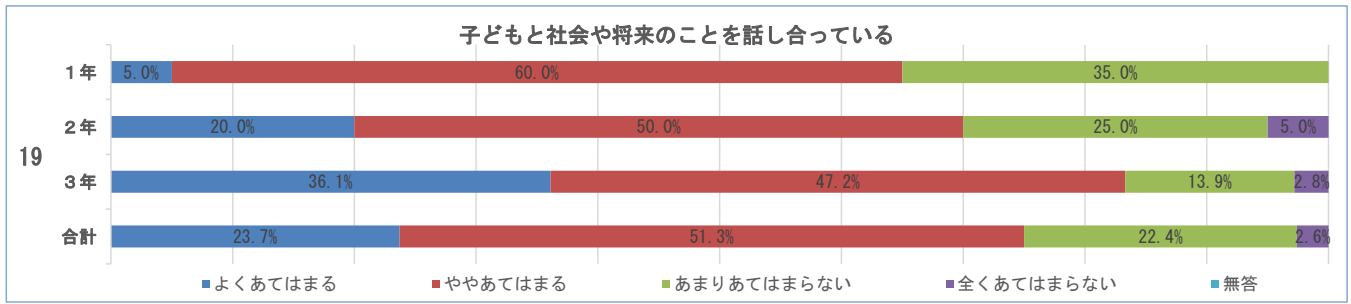




「人権教育・進路指導」の分野(設問14~19)

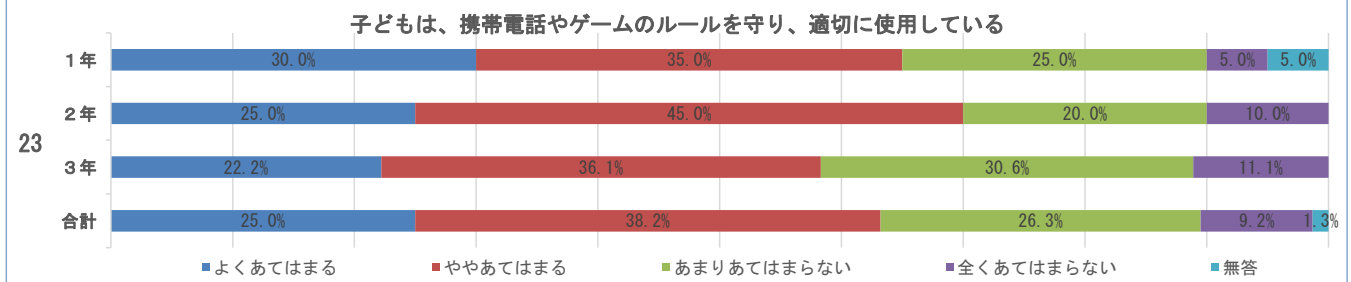
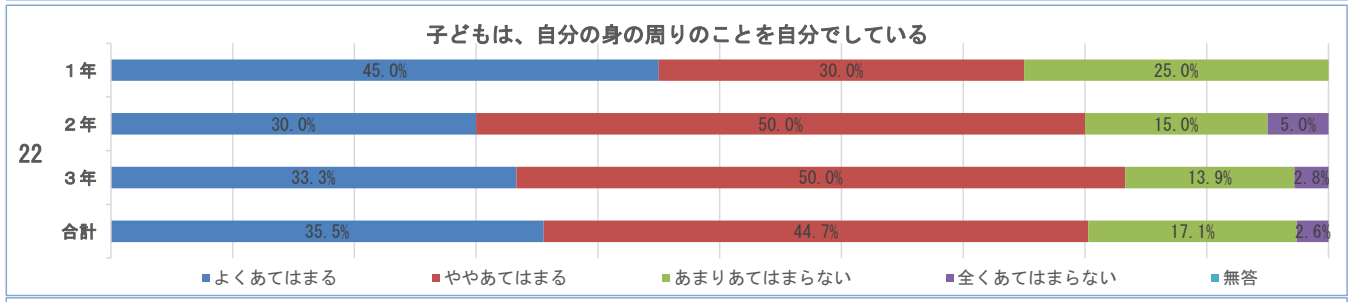
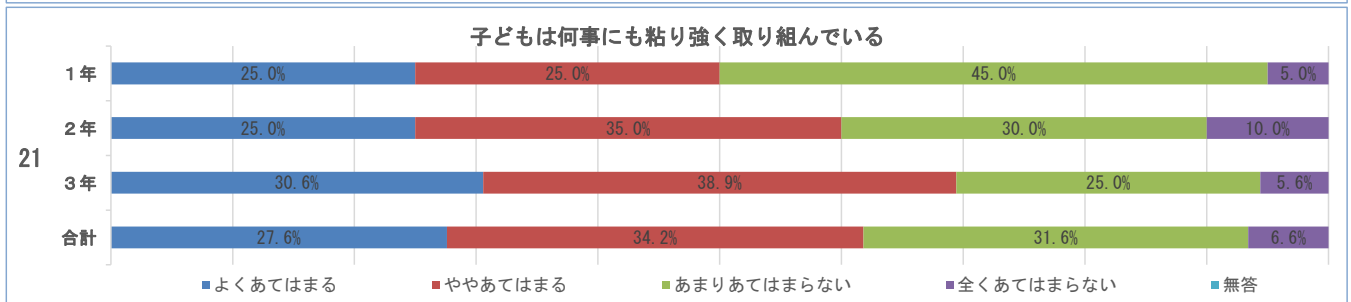
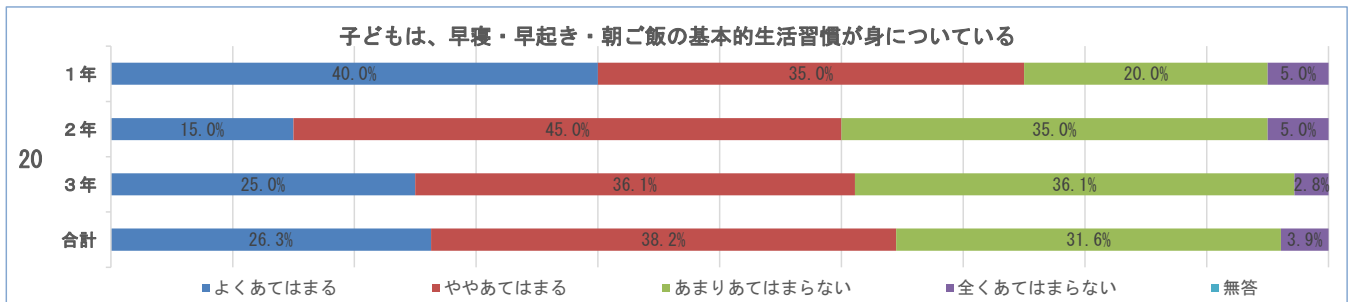
設問項目18「子どもは、夢や目標をもち、その実現に向けて努力を続けている」では、昨年度から概ね満足できる割合が14.2%、生徒の回答についても10.7%の増加となった。これは、家庭教育と学校教育が一体となり、各講演会や参観授業等において積極的に保護者の参観を進めてきた成果であると考え。今後も生徒が多くの人との関わりを通して、進路や将来について考える機会を設定していく。





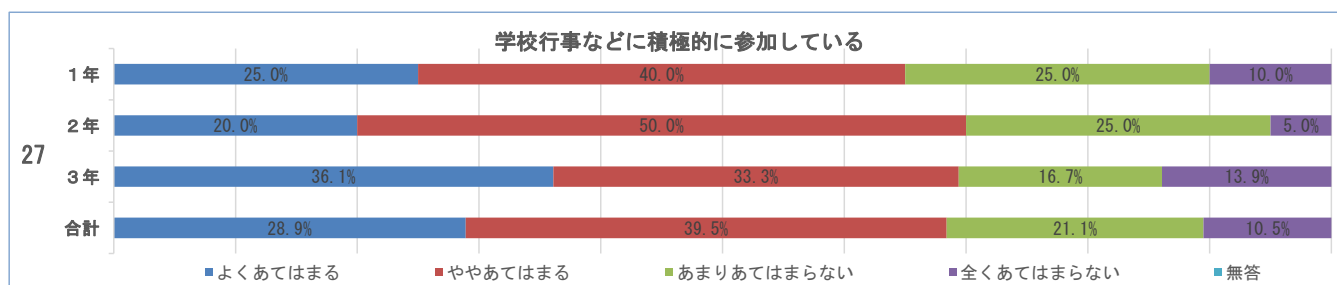
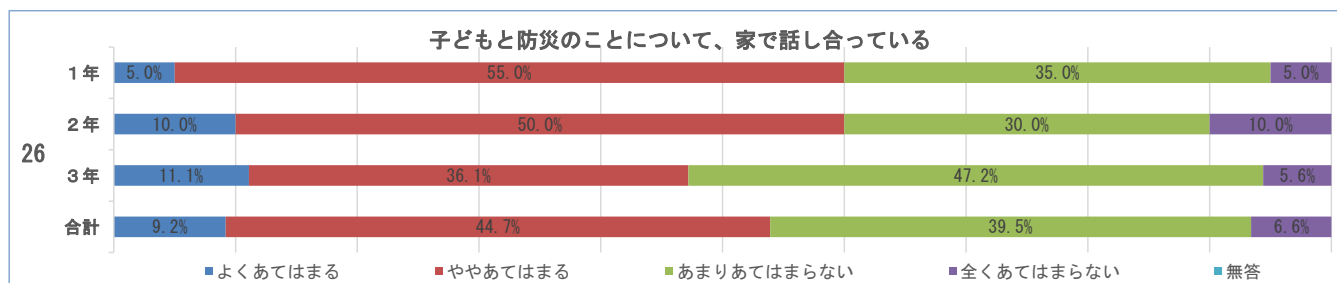
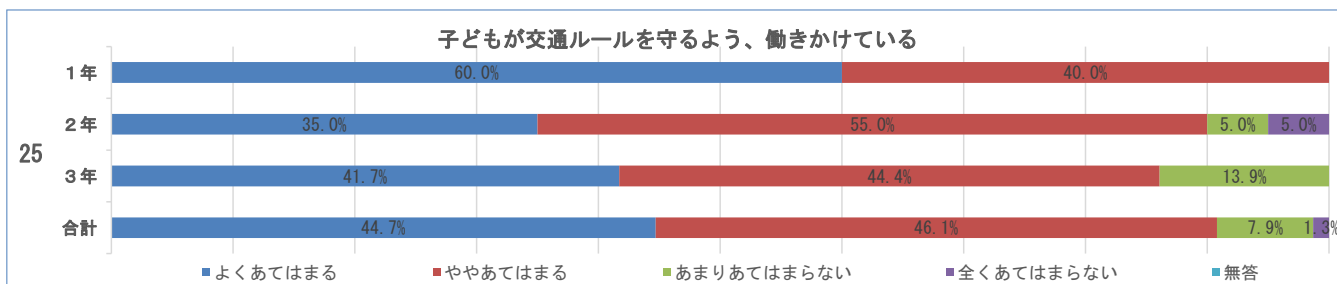
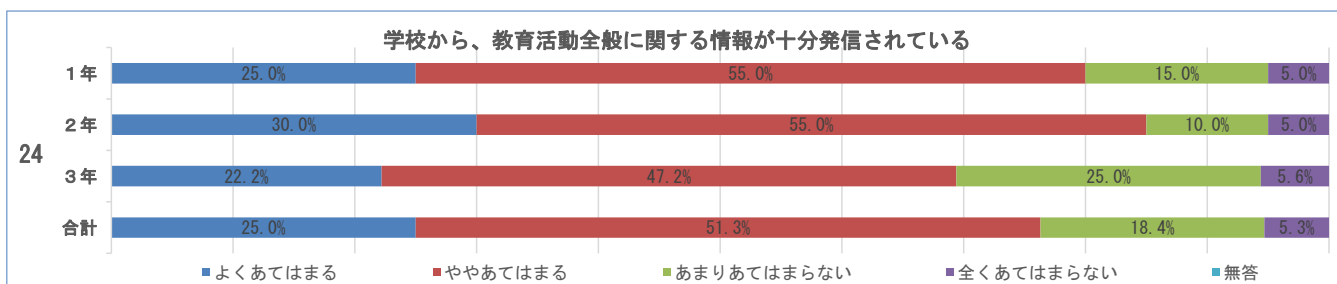
「自主・自律」の分野（設問20～23）

保護者と学校が一体となって取り組んだ結果として、すべての設問項目において昨年度を上回ることができた。しかし、設問項目20、21、23については、概ね満足できる割合が60%台であり、まだまだ改善の必要がある。生徒自身が生活習慣の点検・改善が行えるように関連教科等において、より一層食育等の授業の実践や保健だよりでの情報発信を通して、粘り強く取り組んでいく。



「地域連携・安全教育・環境教育」の分野について（設問24～27）

設問項目24「学校から、教育活動全般に関する情報が十分発信されている」では、昨年度から概ね満足できる割合が2.5%減少、設問項目25「子どもが交通ルールを守るよう働きかけている」では、4.3%減少している。学校から発信される様々な便りやメール配信の充実を図り、きめ細かな情報発信を促進し、保護者と協力・連携した取り組みを行う。



「保護者の調査」について

保護者の学校評価では、全27の設問項目のうち、21問が昨年度の回答「よくあてはまる」「ややあてはまる」において、概ね満足できる割合が増加している。しかし、概ね満足できる割合が80%に満たない設問が約半数あり、その他の設問も含めて対策を講じていかなければならない。

今後、これらの設問を重点項目として「保護者と連携しながら、ねばり強い支援を行う」「日々の学校生活や教育活動のなかで、人間関係を深め相談しやすい雰囲気をつくっていく」「スクールカウンセラーや学校運営協議会等の関係機関との連携を強化する」など、生徒が安心安全な学校生活が過ごせるように取り組んでいく。